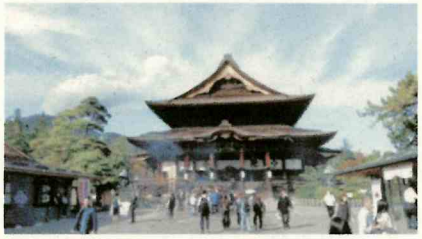
小城市立三日月中学校　令和８年度　第１１号　令和８年１０月２２日
文責　校長　原田　常昭

叡知

《学校教育目標》
「志をもち、主体的に挑戦し、未来を切り拓く生徒の育成」
～夢・挑戦・協働　三中～

歴史に学び、未来を拓く

秋も深まり、木々の葉も色づき始める季節となりました。



先日、校長会研究大会への出張で、はじめて訪れた長野県で、善光寺と国宝・旧開智学校を見学しました。善光寺は、宗派や身分を超えて人々を受け入れてきた信仰の拠り所です。また、明治九年に建てられた旧開智学校は、当時の人々が新しい時代を切り拓こうとした教育への熱意を今に伝えています。

この二つの歴史に触れ、改めて感じたのは、人を大切にする心と、学び続けることの大切さです。一人一人の違いを認め、互いに尊重し合うこと。そして、夢や目標に向かって挑戦し、自らの可能性を広げること。これらは、今を生きる私たちにも受け継がれるべき大切な姿勢です。

三日月中学校が、生徒一人一人の成長を支え、誰もが安心して学び、未来への一歩を踏み出せる学校となるよう、教育活動の充実に努めてまいります。

◆男女そろって県大会へ！

－ 努力を襷に込めて、つかんだ栄光 －

10月9日に開催された小城市多久市地区駅伝競技大会で、本校の男女Aチームがともに第2位となり、女子Bチームも第4位と健闘しました。陸上部がない中、選手たちはそれぞれの競技と両立しながら、暑い夏から練習を積み重ねてきました。

互いを信じ、襷をつなぐ姿には、努力を継続する力や仲間と協力することの尊さが表れていました。男女そろっての県大会出場は、チーム一丸となって挑戦した成果です。また、大会後の片づけにも進んで取り組む姿に、感謝と奉仕の心の育ちを感じました。

ご支援いただいた育友会・保護者の皆様、ご指導くださった多くの先生方に、心より感謝申し上げます。

◆日々の授業に見る三中生の成長

10月19日、小城市教育委員会の大野教育長様をはじめ、佐賀県教育委員会東部教育事務所の山﨑指導主事様など、14名の皆様にご来校いただき、全学級の授業を参観していただきました。

授業では、友達と考えを伝え合い、協力しながら学びを深める生徒たちの姿が見られました。また、先生方が生徒一人一人のよさや頑張りを認め、温かく励ます場面も多くありました。生徒たちは、たくさんの参観者を前にしても、いつもどおり落ち着いて学習に取り組み、自分の考えを堂々と発表していました。

これからも、生徒が「学ぶ楽しさ」や「できる喜び」を実感できる授業づくりを大切にしていきます。

◆「学年集会」を参観して…
― 次代の三中を担うリーダーへ ―

10月20日、２年生の学年集会を参観しました。大家先生からは学校生活やSNSの使い方について、学年主任の福島先生からは生徒会長選挙について話がありました。生徒たちは、先生方の話を自分事として捉え、真剣に耳を傾けていました。

特に印象的だったのは、バレーの大分選抜選手が自然にトイレのスリッパをそろえる姿です。人のため、仲間のため、学校全体のために行動できること。そして、日頃から信頼される行動を積み重ねていること。これらは、リーダーに欠かせない資質です。次代の三中を担う２年生が、自らの行動を振り返り、リーダーとしての自覚を高める有意義な時間となりました。

◆全国の舞台で輝け！　二人の挑戦

本校から二人の生徒が、全国大会への出場を果たします。10月30日から11月3日には、3年生の中村隆星さんが佐賀県選抜ﾁｰﾑとして「第24回全国中学生都道府県対抗野球大会」に、10月24日には、2年生の古賀梨花さんが「文部科学大臣杯 第10回日本リズムダンス選手権全国大会」に出場します。

二人は、日々の学習と競技に励みながら努力を積み重ね、ともに九州予選を突破し、全国大会への切符を手にしました。目標に向かって挑戦し続ける姿は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。佐賀県と三日月中学校の代表として、全国の舞台で力を存分に発揮してくれることを、全校生徒・職員一同、心から応援しています。

◆先輩の姿から学ぶ「夢への一歩」

三日月中卒業である高岸歩果先生（佐賀大学・英語）と溝上心菜先生（福岡教育大学・音楽）が9月28日から10月9日まで、小城中卒業である山下瑠偉先生（大阪芸術大学・美術）が9月28日から10月16日まで、本校で教育実習に取り組みました。

教員になるという目標に向かって、生徒と真摯に向き合い、授業づくりに励む実習生の姿は、生徒たちにとって身近な目標となり、大きな刺激になったことと思います。先輩が夢の実現に向けて努力する姿に触れることは、自分の将来を考え、目標に向かって歩み始めるきっかけにもなります。

今回の実習が、生徒たち一人一人の夢や志を育む機会となることを願うとともに、実習生の皆さんが経験を重ね、将来、優れた指導力と豊かな人間性を備えた教員として活躍されることを期待しています。

◆「自分らしさ」と「違いを認め合う心」
読み聞かせ会（全校）を開催

10月15日、小城市民図書館から森永様、冨吉様、庄司様の3名にご来校いただき、リモートによる絵本『ぼくは川のように話す』の読み聞かせ会を行いました。

吃音に悩む少年が、父親の言葉を通して、自分の話し方を川の流れに重ね、自分らしさを受け入れていく物語です。生徒たちは、絵本の世界に引き込まれながら、真剣に耳を傾けていました。

本作品を通して、自分と他者との違いを認め、一人一人の思いや個性を尊重することの大切さについて考える機会となりました。

◆小中連携「授業参観ウィーク」
10/19（月）～10/23（金）実施中です

10月19日（月）～23日（金）は、小中連携「授業参観ウィーク」です。市道を挟んで隣り合う三日月小学校と三日月中学校の教職員が互いの学校を訪問し、子どもたちの学校生活や授業の様子を参観しました。

小学校から中学校へと成長していく子どもたちの姿を共有し、互いの教育への理解を深めることは、安心して学び続けられる環境づくりにつながります。これからも小中学校が手を取り合い、9年間の学びと成長を大切にした教育を進めていきます。